

野外で楽しめる展覧会「六甲ミーツ・アート芸術散歩2021」 第二弾招待アーティストが決定！

六甲山観光株式会社(本社：神戸市 社長：宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社 100%出資)は、2021年9月11日(土)から11月23日(火・祝)まで現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート芸術散歩2021」を開催します。本展は現代アート作品を通じ、六甲山の魅力を再発見してもらう事を大きなテーマにした展覧会で、これまでに総勢約400組を超えるアーティストが出展しました。本年もアートと出会う発見や驚きとともに“新しい六甲山の魅力”をお伝えできればと思っています。

この度、下記の通り招待アーティストの出展が追加決定しました。光と映像によるインスタレーションなど幅広く国内外で活動する高橋匡太氏など6組が作品を出展します。

※本展の詳細な開催概要は別紙をご参照ください。



《出展決定 招待アーティスト ※50音順》 (2021年5月24日現在)



飯沼英樹



鹿嶋 理英子



河原雪花



C. A. P.

Photo：鳴海健二



高橋匡太



松本かなこ

※本年は招待・公募アーティスト含め約40組が出展予定です。なお既発表分の招待アーティストについては(<https://www.rokkosan.com/art2021/>)をご確認ください。

資料に関するお問い合わせ先

六甲ミーツ・アート芸術散歩 2021 事務局

六甲山観光株式会社 営業推進部

TEL：078-894-2210(平日9:00~18:00)

FAX：078-894-2088

六甲ミーツ・アート芸術散歩 2021 第二弾招待アーティスト

いいぬまひでき
アーティスト名：飯沼英樹

〈経歴〉

1975年 長野県生まれ、東京都在住
 2003年 フランス国立ナント美術大学卒業

彫刻家、画家。現代美術とファッションをつなぎ合わせ、日本の伝統的な木彫の技術を使い新しい表現を試みています。現在、日本、アジア、ヨーロッパを中心に作品を発表しています。



飯沼英樹



「BlueNote 2019.」
 H106x26x16cm_Cypress

かしまりえこ
アーティスト名：鹿嶋 理英子

〈経歴〉

1974年 大阪府生まれ、兵庫県在住
 1997年 関西学院大学文学部フランス文学科卒業

大学卒業後、上京し、スタジオアシスタントなどを経て、現在、兵庫県を拠点にフリーランスとして活動。社会化できない個の人生の物語に惹かれて撮影している。現在は、沖縄で出会ったある女性についての作品、本を制作中。



鹿嶋 理英子



「Life is in a gentledance」
 2004年

かわはらせつか
アーティスト名：河原雪花

〈経歴〉

1997年 大阪府生まれ、京都府在住
 2021年 京都市立芸術大学大学院美術研究科構想設計修了

中東欧やロシアのアニメーションにおける技法・表現に影響を受けながら、切り絵を用いたアニメーションで〈共生〉をテーマに映画を制作している。世界中の出来事が瞬時に拡散される時代だからこそ、おとぎ話の寓意的表現や詩的表現、物語の持つ想像力に重きを置いている。また映像と音楽のアートユニットCuBerryのプロデュース・映像を担当し、各地でライブパフォーマンス、ミュージックビデオ制作も行う。



河原雪花



「青い城」2021年

きやつぶ
アーティスト名：C.A.P.
とくていひえいりかつどうほうじんげいじゆつ けいかくかいぎ
 (特定非営利活動法人芸術と計画会議)

〈経歴〉

1994年 神戸市で結成

設立者の杉山知子を含む11名のアーティストでスタート。旧居留地一帯を使ったアートイベントなどを数多く実施し、1999年には旧神戸移住センターを利用して「CAP HOUSE」プロジェクトを実施。2009年に「市立海外移住と文化の交流センター」となる。現在も同センターの指定管理者として活動を続け、また市民の寄付で海外のアートグループとの活動も活発。



C. A. P.
 Photo: 鳴海健二



「六甲イカスヴィラ」
 六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2020

たかはしきょう た
アーティスト名：高橋 匡太

〈経歴〉

1970年 京都府生まれ・在住

1995年 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

光や映像によるパブリックプロジェクション、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。京都市京セラ美術館、東京駅 100 周年記念ライトアップ、十和田市現代美術館など建築物へのライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたね」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。



高橋 匡太



「光り織」2017 年
 越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」
 十日町市、新潟 Photo:村上美都

まつもと
アーティスト名：松本 かなこ

〈経歴〉

1985年 東京都生まれ・在住

早稲田大学卒業

2006 年より、イタリアにてマドンナーラの活動を開始。

2008 年より日本での活動を開始し、国内外のフェスティバルで路上に絵を描いている。

ワークショップや自由参加形式で子ども達との共同制作も多く実施。



松本かなこ



「有馬行路」
 六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2020

◆お得に会場を周遊できる早割パスポート販売中！

【販売価格】 今なら最大500円お得！

【早割パスポート】

大人（中学生以上）2,000円

小人（4歳～小学生）900円

※当日券は大人2,500円、小人1,000円

【早割パスポート+表六甲周遊乗車券】

大人（中学生以上）3,370円

小児（6歳～12歳の小学生）1,590円

※表六甲周遊乗車券：六甲ケーブル往復+六甲山上バス乗り放題

（2日間有効。ただし、ケーブルカー下り利用後は同じ券で六甲山上バスは利用できません。）

【販売期間】 6月30日（水）まで発売中。

【販売場所】

イープラス、チケットぴあ、JTB電子チケット（PassMe!）、asoview!、じゃらん、ローソンチケット



今年の周遊イメージ

■『六甲ミーツ・アート芸術散歩2021』開催概要

【会期】 2021年9月11日(土)～11月23日(火・祝)

【開催時間】 10時～17時 ※会場により営業時間が異なります。17時以降も鑑賞できる作品があります。

【会場】

六甲ケーブル(六甲ケーブル下駅・山上駅)、天覧台、六甲山サイレンスリゾート(旧六甲山ホテル)、記念碑台(六甲山ビジターセンター)、六甲オルゴールミュージアム※7月に名称変更予定、六甲高山植物園、六甲ガーデンテラスエリア、自然体感展望台 六甲枝垂れ、六甲有馬ロープウェイ 六甲山頂駅、グランドホテル 六甲スカイヴィラ、風の教会エリア
※会場は変更になる可能性があります。

【料金】

有料会場をお得に巡ることができる「鑑賞パスポート」を発売 【最大500円割引】お得な早割パスポートの販売情報

種類	販売期間	鑑賞パスポート代金	鑑賞パスポート代金+乗車券付
早割	2021年4月1日(木)～6月30日(水)	大人(2,000円) / 小人(900円)	大人(3,370円) / 小児(1,590円)
前売	2021年7月1日(木)～9月10日(金)	大人(2,200円) / 小人(900円)	大人(3,570円) / 小児(1,590円)
当日	2021年9月11日(土)～11月23日(火・祝)	大人(2,500円) / 小人(1,000円)	大人(3,870円) / 小児(1,690円)

※小人：4歳から小学生まで。小児：6歳から12歳の小学生。

※本チケットで有料会場(「自然体感展望台 六甲枝垂れ」「六甲高山植物園」「六甲オルゴールミュージアム」「風の教会エリア」「六甲山サイレンスリゾート」)にそれぞれ会期中1回の入場(当日は再入場可)が可能です。※7月に名称変更予定

※e+ (イープラス)、チケットぴあ、JTB 電子チケット (PassMe!)、asoview!、じゃらん、ローソンチケットではお得な鑑賞パスポートを販売しています。

※【鑑賞パスポート代金 + 乗車券付】：鑑賞パスポートと、六甲ケーブル往復と六甲山上バス2日間乗り放題(大人1,370円/小児690円)がセットになったお得なパスポートです。(六甲山上バスは2日間有効。ただし、ケーブルカー下り利用後は同じ券で六甲山上バスは利用できません。)

【主催】

六甲山観光株式会社、阪神電気鉄道株式会社

【総合ディレクター/キュレーター】

高見澤清隆 六甲山観光株式会社 シニアディレクター

■会場とロケーション

「六甲ミーツ・アート芸術散歩」は、六甲山上の観光施設を主な会場としています。オープンエアで六甲山の自然とアート作品を楽しみながら、各施設それぞれの魅力もお楽しみいただけます。各会場は、六甲山上バス(路線バス：有料)の他、徒歩での移動も可能です。

■作品イメージ

六甲山の自然や景観とマッチした作品を各会場に展示予定です。



山城大督《『Monitor Ball』ver. Rokko》
2020年 風の教会



中村萌《Grow in silence》
2020年 六甲山サイレンスリゾート



史枝《連なる思い》
2020年 六甲高山植物園

※2021年5月24日(月)現在の情報です。変更が生じた場合はwebサイト (<https://www.rokkosan.com/art2021/>) で発表します。新型コロナウイルス感染症の状況により変更する場合があります。